

鶴岡工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)		授業科目	工業英語(5年)	
科目基礎情報							
科目番号		0118		科目区分		専門 / 必修	
授業形態		授業		単位の種別と単位数		学修単位: 1	
開設学科		物質工学科		対象学年		5	
開設期		前期		週時間数		1	
教科書/教材		プリント					
担当教員		佐藤 貴哉					
到達目標							
(1) 科学に関するニュースや記事を読み、内容を理解して、英文要約ができる。 (2) 自分の研究テーマについて、英語でショートプレゼンテーションができる。 *本講義はネイティブスピーカーであるDavid Hanley(一関高専) 先生が担当し、webシステムを用いた遠隔授業で行われます。毎回、課題が出されます。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		科学に関するニュースや記事について、辞書なしで内容を理解し、要約して他者に説明ができる。		科学に関するニュースや記事について、辞書を使えば内容を理解し、要約して他者に説明ができる。		科学に関するニュースや記事について、辞書を使っても内容が理解できない。	
評価項目2		自分の研究テーマについて、プレゼンテーションを組み立て、スクリプトを見ずに英語で説明ができる。		自分の研究テーマについて、プレゼンテーションを組み立て、スクリプトを見れば英語で説明ができる。		自分の研究テーマについて、英語で説明ができない。	
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		概要：科学に関するニュースや記事を教材とし、その内容を理解し、英文要約して他者に説明をする力をつける。英語でのプレゼンテーションの技法も学ぶ。最終的には、自分の研究テーマについて英語で説明する。					
授業の進め方・方法		与えられたトピックについて、まず自分で辞書を用いながら内容を理解する。次に、3～4人のグループを形成し、教え合いながら英文要約を行う。最後に、作成した英文要約を発表する。 homework(20%)，授業における演習(30%)，到達度試験(50%)で評価する。60点以上を修得単位とする。					
注意点		*本講義はネイティブスピーカーであるDavid Hanley(一関高専) 先生が担当し、webシステムを用いた遠隔授業で行われます。 毎週homeworkを課すので、必ず自分で予習をしておくこと。 授業中は積極的に発言すること。 辞書を持参すること（電子辞書でも良い）。					
事前・事後学習、オフィスアワー							
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	Guidance				
		2週	Reading comprehension			students can read news reports	
		3週	Summarising text			students can summarise technical text	
		4週	Reading comprehension			students can read magazine articles	
		5週	Reading comprehension			students can read magazine articles	
		6週	Summarising text			students can summarise technical text	
		7週	Show and tell			students can make a simple presentation	
		8週	Show and tell			students can make a simple presentation	
	2ndQ	9週	Reading comprehension			students can read news reports	
		10週	Summarising text			students can summarise technical text	
		11週	Reading comprehension			students can read magazine articles	
		12週	Summarising text			students can summarise technical text	
		13週	Presentation techniques			students can make a technical presentation	
		14週	到達度試験				
		15週	ふりかえり				
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	自分の専門に関する基本的な語彙を習得する。	3		
			英語運用能力の基礎固め	平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	4		
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3		
				毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握できる。	3		
				毎分120語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できる。	4		
評価割合							

	試験	発表(授業時の演習)	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他(ホームワーク)	合計
総合評価割合	30	30	0	0	0	40	100
基礎的能力	15	30	0	0	0	40	85
専門的能力	15	0	0	0	0	0	15
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0